



「バーベキュー交流会」(2019.11.16)

**被災された皆様には
 お見舞い申し上げます**

三ヶ月ぶりの「みらくる」の発行となりました。この間、相次ぐ台風や大雨による被害に遭われた皆さまには、心からお見舞い申し上げますと同時に、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

私たち法人も五年前の夏豪雨による災害で、運営していた施設や、利用者や職員の自宅が被災しましたが、多くの皆さまの支援を受け、多くの皆さまの支援を受けることにより、現在は元気に活動を再開しています。今後もこれまで頂いた支援を忘れることなく、障がい者の就労施設としての役割を果たすことに日々努めて行きます。

施設だより

介護の日大作戦

今年も介護の日「十一月十一日」に合わせて、福知山市の福祉法人施設が加盟している「福祉連協」が、「愛いろいろ展」と、駅前北口広場で行う「介護の日大作戦」に参加しました。「愛いろいろ展」の展示には、利用者の新宮さんの絵画や「おからほっぺ」の製造風景等を展示しました。九日(土)の大作戦には、「きつねうどん」「ミニ丼」に「おからほっぺ」を販売。利用者と職員が協力をし合いながら販売活動に奮闘しました。



新宮さん、絵画の部で二年連続の受賞!

障がい者の社会参加の促進を図る為の企画である「京都とっておきの芸術」の絵画の部に、応募していた利用者の新宮晟弘さんが昨年の実行委員会会長賞に続き、二回目の受賞となりました。今回の作品の題は「キラ現れる!!」で、画用紙いっぱいボールペンで書きなして書き上げたもので、とても迫力ある仕上げになっています。表彰式は十二月に京都市内で行われ、ご家族と共に参加される予定です。本当におめでとうございました!



愛いろいろ展で展示された新宮さんの「ボールペンアート」

後援会入会のお願い

**障がい者施設の安定運営のために
 皆様のご支援をお願いします。**

社会福祉法人しあわせネットワークが運営する施設や各種事業をご理解いただき、会員として後援会にご入会くださいますよう、心からお願い申し上げます。

〈活動内容〉
 各種イベントの開催、機関誌発行 など

〈後援会費〉
 年間／一口 1,000 円
 年会費は機関誌発行、各種行事等に有効活用させていただきます。

皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

※2年以上ご連絡のない方は、機関誌等の配送を一旦止めさせて頂いております。ご了承ください。

編集後記

街路樹が赤みを帯び、銀杏並木も鮮やかな黄色の葉をなびかせています。早くも秋本番となり、すぐに来る冬支度を控えています。秋は毎年各種イベントが盛りだくさんでした。今回の「みらくる」にもその様子の一端を掲載しています。厚生会館の玄関口で、また駅前北口広場のテントの中で、職員と共に利用者が、「きつねうどん・ミニ丼・おからほっぺ」等の販売に奮闘しました。その激励も兼ねて、久しぶりのバーベキュー交流会を長安寺公園の紅葉の下で楽しみました。皆が元気で新年を迎えられる日まで、もうひと頑張りです。



紅葉日和の下で「バーベキュー交流会」
皆で賑やかな時間を過ごしました！

紅葉（もみじ）寺として知られている福知山市内奥野部にある「長安寺公園憩いの家」にて、去る十一月十六日（土）バーベキュー交流会を行いました。公園周辺の紅葉は満開で、市内外から多くの見学者がバスや自動車で見物に来る中、利用者の仲間と職員一同で炭を起こし、野菜類や肉類の仕込み係、テーブルや椅子の設置係、焼き係等に分かれて準備しました。炭火で焼く美味しい香りに包まれながら、皆で賑やかに楽しい時間を過ごすことが出来ました。初めて参加した利用者の方からは「満足しました、美味しかったです」と。また「お腹いっぱい食べるのが出来ました」と、感想をもらいました。



「福祉と人権を考えるふくちやまのつどい」

「福祉と文化のつどい」

「第二回・福祉と人権を考えるふくちやまのつどい」を、十一月二日（土）午後、ハピネスふくちやま市民ホールにて「福祉と文化のつどい」と銘うって開催しました。この取り組みは、高齢者や障がい者の自立支援に、人権問題を考え学ぶ内容として企画しました。今回は「地域で支え合う福祉ネット」と題して、神戸女子大学講師の阿江善春氏の講演と、野田淳子氏の「心歌弾き語りコンサート♪」として両名を招いて行いました。秋の文化行事が各地域で行われていることもあり、参加者は六十人に留まりましたが、参加者からは「とても良かった」との感想が多く寄せられました。



阿江善春氏による講演会と、野田淳子氏の「心歌弾き語りコンサート♪」

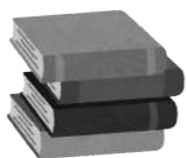
福祉後援会より

今期の総会で後援会主催の行事を、「総会」と「忘年会」の二つと決めていましたが、その後の経過の中で、施設行事等は通所する利用者が中心で企画・実施することとなり、後援会としても「忘年会」は事業所主体の「利用者さんの忘年会」に支援をする形となりました。総会時には、皆で楽しめる行事をまとめて行うこと、また、支援要請があれば必要に応じて協力することを話し合いました。後援会としては、事業所に通う利用者が、自ら企画・実施を行う取り組みにエールを送りたいと思います。また今後も広報誌「みらくる」や「後援会たより」等で、事業所の紹介をしていきたいと思えます。全ての後援会の皆様に、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

古本募金活動

法人が加盟しています「福知山の大学を支援する会」（会長／谷垣均）で、支援の一貫として取り組んだ「古本募金」に後援会員の皆様からの協力を得て参加しました。全体では段ボール大小合わせて二十六個分が集まり、専門業者による査定金額を、福知山公立大

学への寄付として届けられることとなります。尚、集められた物の中には古本だけでなく、古いハガキや切手、CDなども入っていました。「大学を支援する会」では、具体的な支援活動として引き続き行う予定になっていますので、今後ともご協力をよろしくお願い致します。



利用者さんの声



おりた みつとし
折田 光利 さん (57歳)

通所を始めてひと月が経ちました。私は食品製造部で、おからかりんとうの生地づくり等を主にしています。慣れないこともありますが、仲間の皆と協力し合いながら、良いお菓子を作っていきたいと思います。施設行事にもどんどん参加して交流を深めていきたいです！